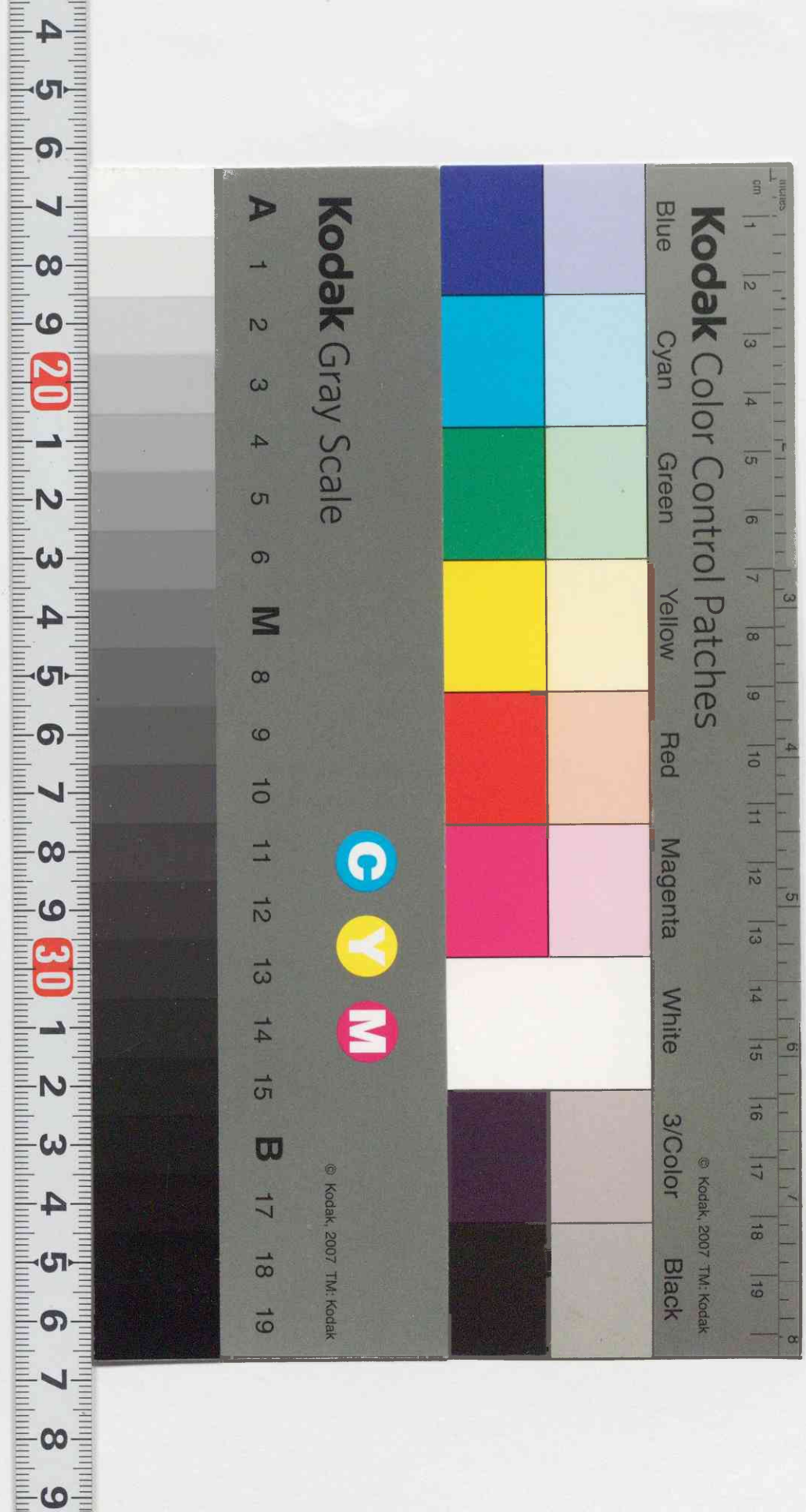




離リ德トク里リ見ミ八ヤチ犬イヌ傳デン卷之二

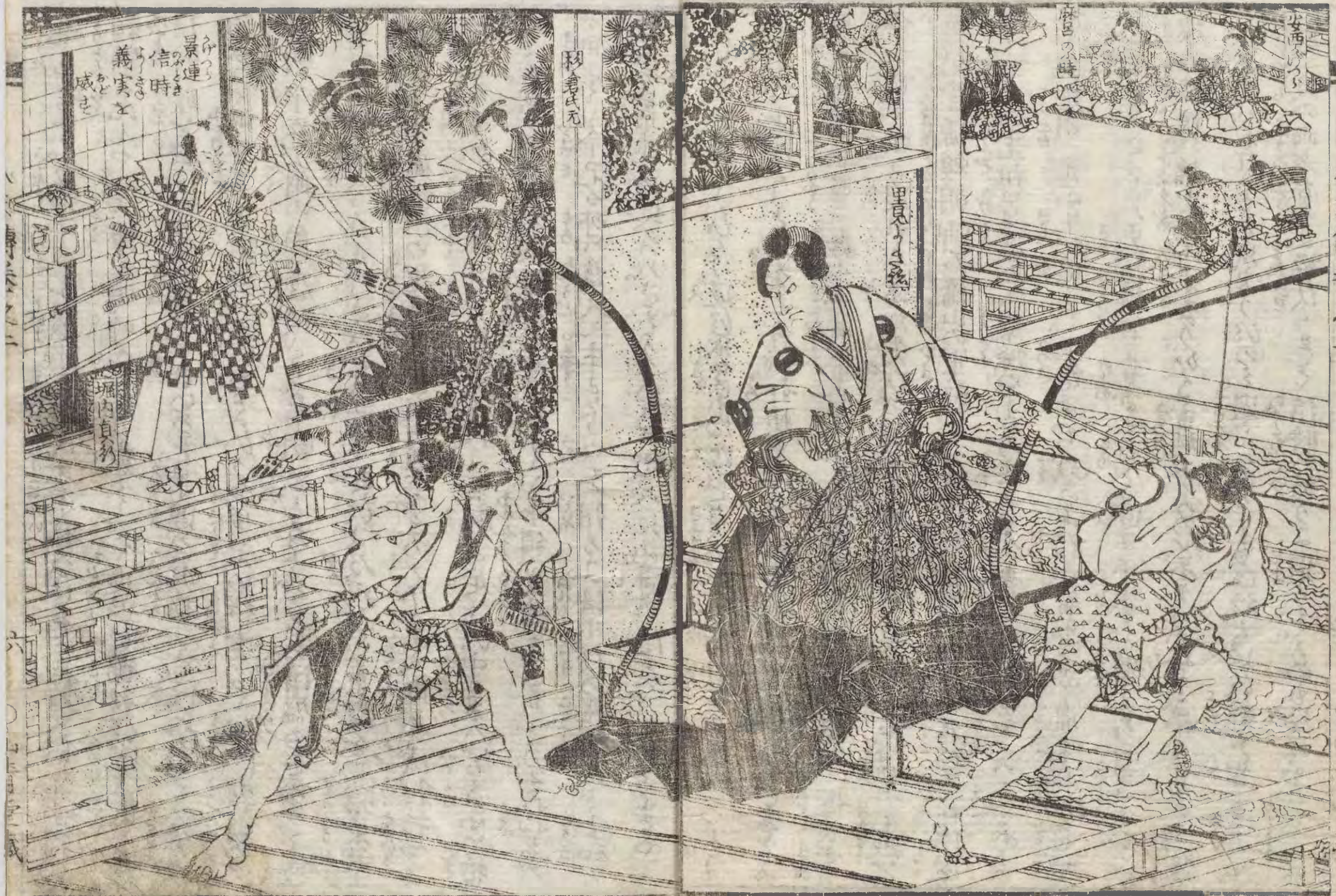
東都曲亭主人編次

第三回
景連信時暗小義實を阻む

氏元貞行三又館山小後小

却説安西三郎大夫景連ハ近習のをも告ぐ及びて。結城の落人里見義実主
 後三人水行あり。まゝ来れる緯の趣たるを猜するも。後難なるか。これハ
 速ゆハ回答せむ。麻呂信時をえり。い。如此このふるん何うと思ひあふん。

とも信時のぶときあはも里見さとみの名ある源氏げんじあるれども。あはれ縁ゆかりもぬゆる。二の
 持氏もちぢがこれの結城氏朝けつぎしあさは荷擔にがたんれ。籠城ろうじやう三年さんねんより及びおよりて。京嫌きやうけん倉くらを敵たかみ
 受てうけ。命令めいれいで豫よるるためと思ふ。るるる小落城せうらくじやうの日ひ不及ふか。親おやの報うける
 ともえう々うづう。阿容あひやくと逸はなかくと。あらじうへ流浪りゆうろうするところ。うゆるる白



目睨もせむ。漁獵の用意を志す。八氏元貞の如く。君もたは。時り。あは。や。
 信時ハ匹夫の勇。者。景連ハ能と。思。才。相。其。憚。我。と。仇。の。ど。
 憑。ける。人。の。は。鯉。と。あ。り。く。竹。ゆ。せん。を。や。上。縁。へ。赴。て。その。毒。惡。と。
 避。め。人。と。り。え。た。小。凍。し。ふ。義。実。成。る。ち。掉。く。否。你。達。分。異。見。た。る。う。麻。呂。
 安。西。人。と。さ。り。利。親。く。義。小。疎。り。口。と。行。い。う。う。入。め。く。定。色。と。あ。そ。う。
 ？。瀬。田。と。村。の。あ。う。は。と。あ。る。ふ。あ。く。終。と。も。あ。つ。成。避。く。上。縁。へ。赴。え。彼。
 此。も。又。如。此。る。下。縁。ハ。敵。地。と。その。と。行。役。赴。く。君。子。ハ。時。を。得。て。樂。ま。
 時。を。失。く。も。亦。樂。む。呂。尚。ハ。世。の。公。望。也。なり。齡。七。十。小。傾。く。ま。て。よ。ふ。
 人。の。あ。る。め。は。渭。濱。と。約。く。文。王。ハ。值。偶。り。紂。王。を。討。滅。し。大。功。あり。齊。月。
 國。ハ。封。られ。子。孫。數。十。世。は。傳。へ。り。太。公。望。と。う。か。の。に。これ。ハ。時。と。執。力。と。
 而。る。が。失。く。め。り。約。と。る。ま。成。嫌。ん。や。且。鯉。ハ。め。で。た。魚。ハ。傳。聞。安。南。龍。門。

の鯉瀑布は。山。と。た。れ。た。龍。は。る。る。と。い。う。これ。三。浦。と。龍。尾。と。さ。る。
 今。白。濱。へ。ま。る。ふ。及。び。人。又。鯉。を。釣。と。い。ふ。前。象。後。北。邊。と。さ。る。む。や。獲。あ。く。
 齊。と。景。連。が。見。ず。と。姑。く。不。ん。と。さ。る。曉。あ。る。と。い。ふ。は。氏。元。の。
 貞。仍。も。その。高。論。ハ。感。服。し。く。約。を。求。め。公。子。成。の。割。新。と。要。月。小。括。著。て。
 主。後。三。人。名。も。あ。る。ぬ。淵。を。さ。づ。く。や。稻。小。森。の。鳥。由。稻。と。さ。る。れ。く。
 天。ハ。の。ぐ。と。明。み。り。

第四回

小湊は義実義と聚む
 色内ふ孝吉雙を逐ふ

却。說。義。実。主。後。ハ。此。の。池。彼。川。と。淵。と。さ。づ。く。激。は。立。て。途。より。途。日。と。濟。せ。ど。
 白。濱。の。旅。宿。へ。い。く。ど。あ。る。く。長。按。郡。白。著。河。上。漁。獵。を。ふ。や。二。日。を。
 かり。ひ。ける。日。數。も。い。ふ。を。限。り。と。さ。る。頻。小。焦。燥。の。と。獲。れ。殊。と。あ。る。る。

そのるに物我求めぬ人実小益の殺生するんとあざと傲りつ常を
 拍く又可とうち笑へば我実おやえど等を捨現巨魚の池中生せに
 大鵬ハ燕雀の林にたむざられつるを世に挟み天高をきくも踊り地を
 厚くまじも踏く安房一郡の主もさる客れど然る代喻を詠り取り
 今又鯉は久後をさひて下へ思癡るる元来鯉はこの地方ふる一と志す
 つ治せよといひつる人の心の底ハ濁はるがう教えそくあられ伎倆と今を
 ちりりこのを児は逢さうせ彼毒汁をあてりまるとる人危うしと今又
 只管驚嘆をぬかへて児ハこれを慰くさのを悔くるひある陸奥の
 鯉ハる。彼ハ五十四郡あり。あれハ鯉の生まると生せざるよその國
 郡の大小よりぬかぬれハ一國十郡は元ざり鯉ハる一といふぬハ牽
 強附合の臆するもや十室の邑も忠信あり警ハ里見の御曹司上毛は

人とうと。一個國を知らふより。これハ漂泊し。膝と容るの室の如し。
 といふ主後目と注し。この児の顔とち熟視る。その中ハ義実ハちぬぬ
 嘆息。人ハ形貌ふくぬぬのうぬぬハ論を見ハ無き。楚の狂悖の類
 る。又彼光明皇后は地を播世持者の類。故國より吾とある。ゆめを
 名をぬまは。これと祈りぬ。元と咲く。人ハの往還繁る。誘ふ
 と。先ハ主後ハる。何なる。遠く羊とさる。後ハ跟蹤。ゆめは
 小松原の郷近。山麓ハ遠く。かの夕宵。うち被る。蔬を脱。塵を拂ひ
 樹下。うち布け。我実と居る。わうまれば。氏元と負け。夏草と折敷く。
 主の左右。つる。當下。見ハ遠く。恭き。額と著。見。入
 なる。ぬい。不審と。なる。神餘長挾。光弘。家隸。金碗。八郎
 孝吉。といふ。なる。果。金碗ハ神餘の一族。歴くる。氏士。



白著河
義実
義志
少

金碗孝吉
夜里人
あつむ



杉倉氏元

組師誕生の地ありてや。苟且も他宗とやらへ偏固の信者多かりける。
 之ハ金碗孝吉ハ豫之討りと云ふ。且里人ホを聚めて誕生寺のやと
 ち竹叢又火を放り。さざる燄草る。松の野干王のく夜をさる。
 リ元忍地ふ天は衝く梢の宿をを睡き法師を撞木を早めて撞と撞と
 走りたる。わたり宿は彼此る里人ホハ驚たえ。門の戸推開瞻仰と。
 まへつが寺の事アをある起し。罵り。里人の棒を引指。莊客農具と
 携便夫舟人祿子も釋式をの。先と争う。喘走り。とんじり。不きま
 美多。其処はまの。西三町人も。竹藪の果敢る。も焼る。夜ハ
 静。小風吹。里遠。小舎も。多。人。金走り。聚。火。大。こ
 後。種も。せ。の。人。又。是。れ。鉢。香。は。世。試。と。解。つ
 汗。流。も。あり。これ。は。の。白。後。く。て。死。而。死。を。さ。る。野。火。の。ま。さ。り。て

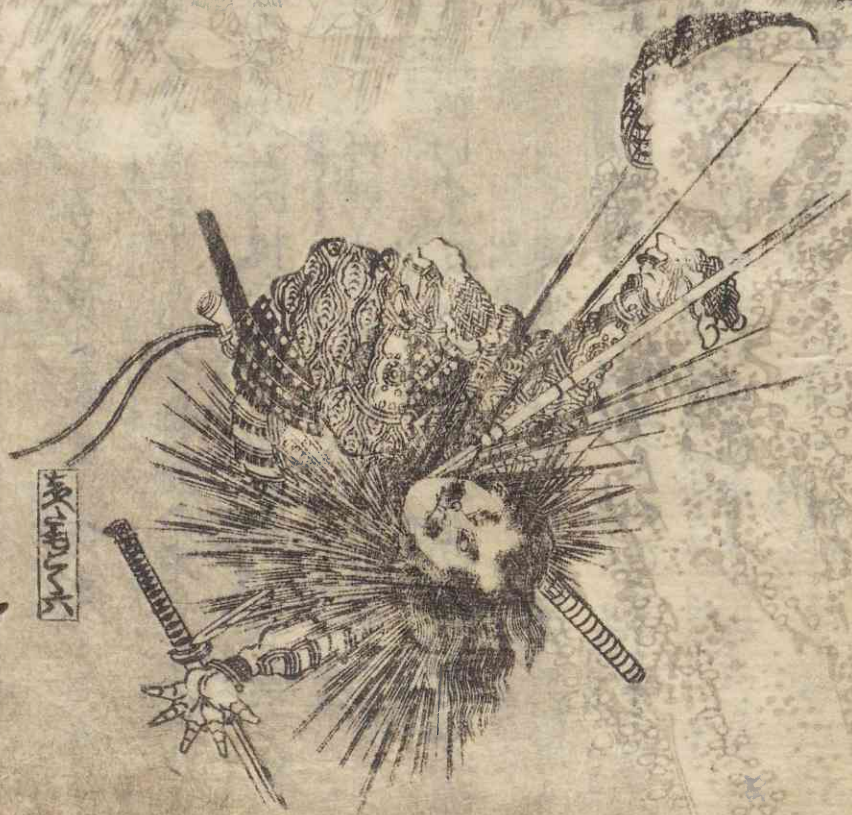
つづは。飲。ち。と。あ。も。可。惜。骨。を。人。も。我。も。起。て。途。た。十。町。里。の。中。に。
 正。小。ま。の。身。を。減。せ。入。立。腹。の。さ。な。た。を。い。ふ。せ。ん。さ。り。と。て。さ。せ。る
 う。る。た。ハ。勢。ぶ。た。筋。る。と。ば。や。と。い。わ。れ。と。吐。と。な。わ。り。も。あり。ま。う。後。く。罵。は
 の。も。皆。集。合。一。儘。又。慰。ひ。を。り。當。下。金。碗。孝。吉。ハ。焼。残。り。る。藪。は。遠。より。
 嘆。れ。く。立。ち。お。れ。バ。衆。皆。奔。こ。れ。と。ん。と。人。の。鬼。う。と。そ。ろ。り。小。且。驚。驚。は。旦。果。れ。く
 あ。れ。と。い。ふ。は。孝。吉。ハ。火。抗。て。衆。人。の。中。に。上。る。と。こ。れ。ハ。甲。夜。より。け
 と。ろ。ろ。又。你。達。と。も。り。の。へ。と。喻。は。又。と。ん。と。う。ん。と。原。来。正。の。死。不。約。に。て
 俺。們。を。迷。せ。し。自。物。ハ。彼。奴。え。打。と。拾。れ。と。聞。く。を。駭。か。し。進。ま。ず。縁。由。を
 告。さ。れ。バ。あ。う。思。ひ。の。べ。た。と。ん。と。故。る。く。あ。ふ。火。と。場。て。你。達。集。合。各。名。告。と
 せ。ん。と。推。察。の。その。國。乱。と。く。忠。臣。あ。ら。わ。れ。その。家。艱。と。く。孝。子。出。ん。と。志。さ。こ。こ
 あ。と。バ。ア。そ。の。く。浮。世。又。隱。を。え。は。さ。る。實。れ。果。こ。ま。バ。そ。こ。と。い。ひ。け。な。る

べ。こゝに舊の國主小什。金碗八郎孝吉の。曩より君と練ふてゐる。身退に旅宿小生。終つてゐる。舊恩の。さうさう。運臣定包。と。名と。實を。要する。と。さう。隙と。實とも。人。畏れ。天。思光の眼を。魚鱗小覆とも。ひる。と。さう。平館。と。山。麻呂。安西。逢く。逆。又。興。と。恥。と。せ。古主。又。舊。交。あり。といふ。と。こ。こ。小。城。密。告。し。形。る。に。世。成。憤。り。墓。る。た。の。身。を。恨。め。と。數。又。現。身。の。息。の。内。を。秘。す。る。と。死。の。後。又。大。ふ。る。り。と。遂。に。怨。と。復。さん。ゆ。腹。と。切。え。と。さ。折。里。見。冠。者。義。実。ゆ。結。城。の。寄。り。を。投。脱。く。白。濱。は。漂。泊。し。安。西。水。を。頼。る。ゆ。か。復。小。生。を。は。り。由。田。や。び。箇。様。と。言。ふ。殺。せ。と。せ。う。と。縛。い。ち。其。の。期。小。至。る。に。これ。さ。う。ゆ。白。著。の。門。畔。お。初。め。ひ。る。と。忽。ち。又。い。ひ。け。と。竊。め。ぬ。る。小。

彼。君。年。る。月。日。と。い。ふ。言。語。應。對。あり。其。の。實。小。丈。武。の。良。將。大。將。結。城。は。置。り。武。上。或。は。終。つ。と。生。拘。れ。恙。る。た。稀。る。小。主。後。不。思。義。小。生。口。を。脱。れ。と。小。漂。泊。を。も。と。と。が。身。を。の。車。る。ゆ。に。被。逆。賊。定。包。小。年。來。つ。く。虐。ら。と。名。の。び。く。小。う。ち。數。く。途。迷。が。相。つ。く。と。や。と。や。彼。君。は。後。ひ。お。ね。せ。定。包。を。滅。さ。る。是。則。賊。民。二。國。を。餘。殃。と。受。ん。國。の。ぬ。小。逆。を。討。め。又。依。倚。の。良。民。を。多。く。土。炭。と。焼。と。く。子。孫。必。餘。慶。と。受。ん。今。こ。の。と。義。吉。と。さ。る。小。言。ハ。必。應。易。し。と。い。ふ。く。小。い。ふ。う。る。と。已。と。旗。は。ど。火。を。揚。て。其。の。實。集。會。し。と。さ。苟。且。の。と。さ。と。と。と。可。嗚。と。號。示。せ。六。會。飲。く。り。と。と。拍。あ。ま。く。宴。れ。ひ。と。面。對。以。憑。る。り。の。由。金。碗。と。の。と。思。ひ。け。と。さ。う。と。さ。う。と。不。礼。ハ。中。か。せ。め。入。り。素。より。智。を。み。く。才。を。か。く。出。さ。る。は。僥。れ。と。國。主。の。舊。恩。を。忘。る。べ。し。維。定。包。と。つ。め。と。め。と。さ。う。と。人。憎。と。



金八郎



金八郎

有一月餘の賞。重く罰輕し死せるものも又小生。活物に榮え。江小還。又
 車轍の東雪の中なる常盤木君が齡はさ。石の山巖とる。て。竭せし。と
 と今様を合奏。毒の奥より。なる。義実ハ法度を寛く。民を安撫
 軍令と正して士卒励み。招き。さ。い。ち。も。ち。わ。の。数。百。人。は。及。び。たり。
 これハ過半と。め。置。直。杉。倉。氏。元。と。も。小。城。を。守。り。に。僅。二。百。餘。騎。成。お。も。
 考。吉。と。先。陣。と。し。負。け。後。陣。と。し。平。郡。へ。進。渡。志。ぬ。氏。元。ハ。これ。と。陳。て
 初。て。い。ろ。下。小。丸。勢。寡。一。二。城。ハ。二。三。百。の。士。率。あ。く。足。多。人。と。頼。小。密。結
 中。せ。い。め。失。隙。を。うち。掉。と。否。の。城。ハ。二。三。果。り。一。二。破。ら。る。何
 如。へ。還。る。に。合。戦。ハ。必。り。も。勢。の。多。少。は。よ。う。ふ。も。わ。く。も。我。小。利。あ。く
 二。百。騎。が。十。騎。二。千。騎。小。丸。り。ぬ。べ。い。さ。う。く。ハ。念。せ。く。は。い。く。城。と。も。
 る。い。ふ。に。ぬ。を。あ。れ。麻。呂。安。西。あ。く。和。睦。せ。必。し。と。争。へ。く。は。瀧。田。乃

敵兵よ甘き。力と竭。防。戦。へ。る。追。へ。く。追。へ。く。これ。安。全。乃
 良。策。之。努。め。懈。る。と。叮。嚀。し。説。諭。し。さ。先。陣。と。い。さ。く。後。出。陣
 あり。果。せ。る。里。見。の。一。軍。その。夜。前。原。浦。と。潰。れ。る。堀。橋。を
 渡。り。兵。実。の。徳。政。基。ひ。風。を。望。み。帰。降。する。野。武。士。郷。士。二。百。騎。二。百
 騎。うち。三。と。さ。く。追。追。著。なり。軍。勢。千。騎。は。た。り。し。う。は。後。と。さ。く。も
 この。松。林。千。騎。橋。と。唱。え。加。梅。の。如。い。む。う。源。頼。朝。卿。當。國。へ。推。演。り。
 上。総。へ。赴。た。ぬ。と。た。の。川。の。ほ。ろ。り。ぬ。と。後。陣。と。せ。し。と。と。後。陣。と。せ。し。と。
 側。は。白。旗。の。神。祠。あり。兵。實。則。馬。より。下。り。征。策。二。條。を。奉。納。し。且。く。祈。念
 あり。真。夜。中。なる。白。旗。二。隻。社。の。松。の。梢。より。さ。く。と。斬。者。と。平。郡
 の。さ。く。と。飛。ぶ。と。と。兵。實。諸。軍。兵。合。戦。勝。利。疑。は。し。と。勇。さ。る。ぬ。る。う。け



貳